日米

THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONE PROSPECT 238
ENTERED AS N. P. POST OFFICE
AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES
IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.50
DAILY.....ONE MONTH 1.00
SINGLE COPIES ..... 5 CENTS

日米

共和黨大會 桑港で開ん

日米問題中心地として意義深し

【一】

米國大統領は四年毎に改選されるのであつて、明一九二八年は正に改選の年である。共和、民主兩大政黨及び三黨は、何人が候補者として出馬するかは、遅暁するこゝは出來ないが、大統領選擧は、其手續が却々復雜であつて、今から準備に着手される。既に民主黨は、遠く九月二〇日に民主黨全國大會を開いて、充分に、其適當なる都會なることを認せられてゐるに鉢てをやだ。

【二】

而して、今日米國の天下を握つてゐる共和黨の全國大會は、桑港で開催したいといふ希望は桑港の米人の間には多年の宿望であつて、日下盛に運動が行はれてゐる。加州選出共和黨全國委員なるウイリヤム・クラカー氏は、萬難を排して運動中で昨日桑港に電報せる處によると共和黨の全國委員中の大多數は桑港に全國大會を開くことに賛成し、「桑港へ！」といふスローガンが全國委員會を支配してゐるから、勿論他にも候補地はあるが、桑港こそ、第一の候補地だとゞいつて來た。特に桑港は一九二〇年に民主黨が全國大會を開いて、充分に、其適當なる都會なることを認せられてゐるに鉢てをやだ。

【三】

桑港にゴム足もなく米國太平洋岸に位する唯一近代的都市であり、氣候は夏期は特に涼しくホテルは充分にあり、桑港に市公會堂は國一萬二千を有し、會場として國の設備に不足する所はない。共和黨の全國大會に出席する代表員は一〇九名であり其補缺や從者及び運動員等の參集には、桑港は、いさゝか事缺かぬ都市である。東洋に面する米國の西岸國であり、太平洋問題の中心地である點に於て、他の如何なる都市よりも、獨特の地位を持つてゐる。我等が桑港を以て重大視する所以は實はその點である。

【四】

大西洋文明は既に過去のことであり、太平洋こそ將來の米國文明の搖籃である。殊に加州は各

長野市城山閣で 政友會北信大會

田中首相以下同黨巨頭出席 決議文通過後懇親會を開く

本社東京特電 廿一日午前八時着

政友會北信大會は二十一日午後一時半長野市の城山閣に於て開催田中首相以下同黨有力者多數列席したが大會は左の如く決議をなし氣勢を擧げた後同夜懇親會を開いた

政友會所屬議員 百八十五名となる

宮崎選出代議士永井作次氏 民政黨を脱し政友會に入る

立憲民政黨代議士永井作次氏(宮崎縣選出)は今回政友會に入黨したが之れで政友會は所屬代議士總計百八十五名を擁する大政黨となつた

臺灣知事連更迭

樺太長官と臺南知事入代り

久しく未定であつた臺灣總督府知事の異動は左の如し

任樺太廳長官 喜多孝治
任臺南知事 豊田勝三
依願免官 吉岡荒造

新ブラジル大使

セイトイザ氏二十一日入港佛國汽船にて赴任

セイトイザ氏は廿一日フランス船にて來朝した

愈よ明日川崎を 一時海軍へ引渡す

八千の職工に支拂ふ賃銀なく 下半期に五十五万圓支拂ふ

川崎造船所は下半期に入つて以來漸く五十五萬圓の給料を支拂ひしのみにて八千餘名の職工に賃銀を支拂ふことが出來ぬため海軍省と協議の結果曩の通り愈々廿三日中に海軍側に一時引渡す事となつた

日銀新理事 永池氏

川田敬三氏後任

日本銀行監事たりし永池長治氏は今回川田敬三氏の後を襲ひて日本銀行の新理事に擧げられた

川崎銀行の 新頭取

星野章氏就任

星野章氏は今回電百銀行と合併の相談なりたる川崎銀行の頭取に擧げられたがそれは川崎銀行の一宮頭取が不眠症にかゝり自から行務をとることが出來ないからである

軍縮會議は八月 中旬迄かゝらん

開會後滿一ヶ月を費せるも 遅々進捗せず決裂せぬのが 幸ひと日本全權語る

(ジエネバ) 軍縮會議の經過は噸級の一等巡洋艦(古鷹及加古)(ルエチバ)より八吋砲をおろし六吋砲を搭載せる巡洋艦その他に關する問題は噸だけに留まりまだ確められたる報道ではない

六千噸級艦 六吋砲に

米國反對の理由

(ロンドン) 軍縮會議英國全權ブリッヂマン海相及セシル親王は二十日午後遅く來着したので、ブリッヂマン海相は共に少くも數日間はロンドンにとどまるべく早くさも二十五日頃にジエネバに再び赴くやうなことはないからさいふ

英國二全權 軍令部

會議に昨日列席

(倫敦) 軍縮會議の經過を報告するため歸國せるセシル全權は「會議の將來に對し余は樂觀してをり決してその決裂を來さぬものと確信してをる」と語つたが同子はブリッヂマン海相と共に少くも數日間はロンドンにとどまるべく早くさも二十五日頃にジエネバに再び赴くやうなことはないからさいふ

廿五日前は 英國全權

ジエ子バに再び赴かぬ

(倫敦) 軍縮會議の經過を報告するため歸國せるセシル全權は「會議の將來に對し余は樂觀してをり決してその決裂を來さぬものと確信してをる」と語つたが同子はブリッヂマン海相と共に少くも數日間はロンドンにとどまるべく早くさも二十五日頃にジエネバに再び赴くやうなことはないからさいふ

濠洲勞働黨幹事 英の新嘉坡海軍

根據地完成は英國の爲且つ 濠州新西蘭の國防上必要と 太平洋國防會議で叫ぶ

(ネノルル) 濠洲勞働黨幹事ボール氏は二十日の濠州議會において濠洲新西蘭の國防上必要と太平洋國防會議で叫ぶ

前コサツク 輸送指揮官

死刑に處せらる

(モスコウ) ソビエット通信によると前コサツク將校ビスクノフは一九一九年白露軍の輸送指揮官として

母君に抱かれて 新皇帝の即位式

列國公使は館員一同を從ひ 式場の議會外交官席に着席 三攝政も宣誓式を行ふ

(ブカレスト) フエルデナンド皇帝の嗣御により皇位を繼ロス前皇太子に代り摂政官となつたが、皇帝は母君たる王妃マリアに抱かれ、ルーマニア大僧正ミロ前ブカレスト市長及び大審院長ポペスコ氏等により、ルーマニア國一致で即位式の行はるゝ事を見物したが米國公使ロバーツ氏、パターソン氏も館員一同を從へ即位式場に到つた

全國靜謐に 平意を表す

弔電頻りに來る

ルーマニア國は弔旗を掲げ各官衙は休業し教會は弔鐘を鳴し各國は弔電を送つて新皇帝の冠御を慰しつゝあり

軍隊新皇帝に 忠誠を誓ふ

歌舞音曲停止

ルーマニア國は新皇帝に忠誠を誓ふ誓詞を組織する樣になつたが、その他からブエルデナンド陸下の崩御を惜む電報が續々舞込みつゝある

二十四日 御大葬は

前皇儲會葬せず

ブエルデナンド皇帝の御葬儀は始め廿三日の豫定なりしが全國民ブカレストに集まり御遺骸の棺會を興へるため政府は特に決し廿四日舉行することに決したが政府はカロル前皇太子の歸國は攝政國の國をなすものとし歸國を禁じるので皇太子も意を決し佛國に留まり御葬儀遊ばされぬだらう

滿十八才迄 攝政を置く

首相と陸相も 攝政に就任か

ルーマニア新皇帝は滿十八歲に達するまで三人の攝政により國務を總攬せしむる筈であるがコラス親王大僧正及び大審院長の外にブラシアノ首相及び陸相も近く攝政となり五人の攝政會

珠玉を拾ひて

淨土三經の要文を釋す

(五)

東福 夢郷

はこの世からあつても、三途の旅は死んでから行くところだと考へられてゐるが、もとより罪の重い私共は、死んでからも恐ろしい三途の道をゆくのでせうか生きてゐる間にもこうして三途の勤苦がないといへませう

▽

まことに罪の深い私如きは、今や日々三途の苦しみに骨を砕き、血を流してゐるのであります。

△

これを宗教上の罪惡觀と申まして、信仰生活の基礎であります。

▽

さて斯くの如き悲しき人々でも、一度びこの如來の心に遇ふことが出來ましたならば、三毒の垢も消められて、なく身輕も心も柔軟さいつて、氷が解けた時の樣に赤裸々になつた人が息を吹き返した時の樣に柔かになり、裕かになり、爽かになつてその歡びのために、躍り上るやうな心地となります。

▽

そして曇り日ーに遠い沙漠をゆく旅人がオーシスに辿り過つた時の樣に本當に休息を得て苦痛はすつかりなくなつて、大きな力を得るのみならず此の世の命が了る時にはすべての罪をのがれて登い佛樣にしていただくといふ意であります。

▽

この「光に遇ふ」及び「光を見る」といふ言葉が、この中一番大事ですが、これは、好子さんへの言葉の中で說明しました。佛を想ふといふことであります。しかしてそれはお日樣の光のやうに外から來る光が、私共を照らすといふやうな淺い意味ではありません。私共が佛樣を想ふ時に、その拿い光が私共の心の中にさしこんで來るのであります

△

だから如來樣の光明は、日光の如きものとは全く異りそれは同經に說いてあります通り無量の光り、無邊の光、無礙光、無對の光、清淨の光、歡喜の光、智慧の光、不斷の光、炎王の光、離思の光、無稱の光であります。

△

そして斯くの如き廣大なる光を放ちたまふ佛は、私共の阿彌陀佛より外にはないのであります。十萬無量の諸佛はみな阿彌陀佛の光を受けて始めて輝く佛であります。常に阿彌陀佛を讃美したまふとが諸佛のお從目なのであります。

△

そして私共人間さしましては此の光を見る人のみが、人間生活の意義と喜びとを知る人であります。彼佛名號、歡喜踊躍、乃至一念、當知此人、得大利、是即具足無上功德、これはたしか田邊夏子さんに書いてあつた。お言葉さ記憶しますが、これは同じ大無量壽經下の卷の終り方に出て來る非常に重要な、又有名な經文で深い意味さ權威に滿ちた大宣言であります

△

之は最主なる釋尊が眞理を說切を極めた上下二卷に無量壽經を長々さ說いて來られて、いよ！その終りはりに當つてこのお經全體を通ずる一番肝要の處は、要するに私共が阿彌陀佛のお名まへを聞くにあるのだといふことを、このお經を說くための第一の相手たる彌勒さいふ菩薩にいひふくめられる處ですからこれを流通附屬の女さいふのです。

△

そして私共人間さしましては生活の意義と喜びとを知る人であります。彼佛名號、歡喜踊躍、乃至一念、當知此人、得大利、是即具足無上功德、

△

そして私共人間さしましては生活の意義と喜びとを知る人であります。彼佛名號、歡喜踊躍、乃至一念、當知此人、得大利、是即具足無上功德、

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd.
SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St., Tel. Kearny 1396
LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St., Tel. BRoadway 6144
横濱正金銀行 桑港支店 羅府分店
米弗貨預金 定期預金 利率 四分五厘 年利 四分五厘
當座預金(六ヶ月) 利率 年四分五厘
當座預金(當座預金には殘高相當なる時は特別預金に利息御仕拂可申候)
郷里送金(日本全國何れの地へも無手數料にて取扱最近便にて精々勉强仕候)
外國爲替(貸附、割引、代金取立等一般銀行業務一切至極御便利に取扱申候)
資本金(全額拂込) 壹億圓
積立及繰越金 參億壹千万圓
預金總額 五億四千万圓
横濱本店、東京、神戸、大阪、名古屋、下關、長崎各支店定期預金何れも御便利に取扱申候
日本貨預金 利率 大ヶ月以上年五分五厘
特別定期預金 利率 大ヶ月毎に利子計入 年五分五厘
通知預金 利率 日歩一錢一厘

旅館 加州館
桑港スタクトン街一〇一九 電話 グラス三一一三
館主 中野伊太郎 食堂主任 佐十郎
資本金(全額拂込) 壹百萬圓
積立金 六百五拾萬圓
資産總額 參億九千萬圓
再入國請願手續、出國許可手續、移民局事項手續
横濱、京都、金澤、福島、廣島、岡山、大阪市桑尾、堺、徳島、津、神戸湊町、德路、富山

BTB 藤本ブローカー銀行
本店 大阪市北濱五丁目
支店 東京、名古屋、神戸、門司、横濱、京都、金澤、福島、廣島、岡山、大阪市桑尾、堺、徳島、津、神戸湊町、德路、富山
藤本證券會社姉妹銀行
資本金 參百萬圓
積立金 六百五拾萬圓
資産總額 參億九千萬圓

メーン・ホテル Cor. 6th & M St., Sacramento Calif. Phone Main 8610

SK家具合資會社 桑港クリーム街六〇五 電話 ケスト三三一
長篇小說 曉の聖盃
溢るゝ第二の接吻
猫の微笑
線の處女
線の春
婦人讀本
民法讀本
教育讀本
山田わか著 家庭編一〇〇 處女編一〇〇
北米五車堂 1098 Post St. S.F. Calif.

THE SUMITOMO BANK, LTD.
Branches {315 California St., San Francisco, Calif. / 200 S. San Pedro St., Los Angeles, Calif.
THE SUMITOMO BANK of CALIFORNIA. 400 L St., Sacramento, Calif.
住友銀行 株式會社
本店 大阪市北濱五丁目
資本金 壹千萬圓
總預金 四億參千五百萬圓
海外定期 年利五分五厘 六ヶ月毎に利子計算
通知預金 日歩壹錢壹厘
郷里送金 取扱迅速 (無手數料)
營業案内、預金申込用紙御入用其他何事に依らず御用向の節は遠慮無く御通知下さい
桑港支店 桑港ストクトン街一九六 電話ケスト一〇七八
羅府支店 羅府サンピドロ街二〇〇番 電話TU(ケスター)八一一
羅府ニエル街四〇〇番 電話メーン一〇七八
本國海外通知網
住友銀行 株式會社
大阪市北濱五丁目
資本金 壹千萬圓
總預金 四億參千五百萬圓
年利五分五厘
六ヶ月毎に利子計算
日歩壹錢壹厘
取扱迅速
(無手數料)
郷里送金

オーオー藥舗 1706 Buchanan St., S. F. Calif.
機能發育器 八弗、十弗、十七弗
夫婦和合に缺く可からざる器械なり (目錄あり)
三月サラエ 五弗、九弗
三月以内の月經止りには有効確實なり
ビタミン A、B、(五弗、九弗)
本劑は營養不足を補ひ精力體力を增進す

イーストマン コダツク
桑港ポスト街一六三八
寫眞用材料品各種
瑞穗商會
電話ウエスト一〇九四

羅府ホテル
羅府東一街 三四一番 ミカドホテル 331½ E. First St., Tel. MEtro 7510
羅府東一街 一二九番 イーグルホテル 129½ E. First St. Tele. VAnd. 7659
羅府東一街 三〇五番 ニューヨークホテル 303 E. Second St., Tel. MEtro 5161
桑港サンピドロ街 一二一 太平洋ホテル 121 S. San Pedro St., Tel. MEtro 8362
桑港サンピドロ街 一一七 オリンピックホテル 117 N. San Pedro St. Tele. Mutual 9869

日本行乘船券 夕田村旅館
出國許可、再入國請願、移民局事項手續
電話ダウンタウン七一六八 440 Pacific St., S. F. Calif.
日本ホテル 1551 Laguna St., San Francisco Calif.
日本行汽船切符取扱 ◎出國許可、再入國請願、移民事項手續最も親切に御世話致します
電話ウエスト五二一五
桑港パイン街五五一 551 Pine St., S. F. Calif.
電話テンポート七〇八三
帝國ホテル
日本行汽船切符取次

日本御料理 小川ホテル 412 California St., San Francisco, Calif. Tel. Davenport 1816
日本行汽船切符御申込に應ず

通信販賣 迅速誠安 大春堂 THE TAISHUN-DO 1423 KERN ST. FRESNO, CALIF
八月 ※ グンキ部 倶樂部 談話講演 ※
尾崎紅葉篇 レオパルヂ集 一〇〇
共産部落の赤裸々 女性の究 一〇〇
人生の手相學 一〇〇
大思想全集 一〇〇
大宅壯一譯 羽太鋭次著 一〇〇
小西久遠著 一三〇
高橋北堂著 一三〇
白井喬二集 一〇〇
現代一弗、野球界七〇、蓄樂半弗
春陽堂全集 一〇〇
現代大衆文學全集 代 世相人情美の賣康國民文學の大殿堂遺藝發成萬人慰安の大源泉
婦人世界、婦女界、主婦の友各半弗

CALIF. STATE LIBRARY SACRAMENTO, CALIF.

國際教育大會
日本代表來桑
溝淵氏と伊藤氏

伊藤氏曰く「通信に力を」

來る八月一日から一週間カナダ國際教育大會に日本代表として出席すべく、明治神宮の鎮座されて故國知名の教育家が來桑した。それは文部省主催の教育會から――東京府立第五高等女學校長中澤彦吉氏、東京高等師範學校長伊藤長七氏等である。（同機代表として田邊尚雄文部大臣の指名の溝淵政太郎博士は目下ホノルルにあり、太洋平關係會議に席を同じ、今一人國民新聞記者相澤淵氏に決定したものです。毎二年を隔てて行はれ頗る重要視されてをり世界各國の代表派遣國は四十有三を數ゐる

特に今回は西に東繞會議ありて、國際的教育大會といふわけで、東京にこの教育大會といふ問題は國際的教育、軍事いでは勝てる筈の者であるが、敵育、教科書問題、平和に對する佛、早くから渡英して稽古後の各國の共鳴、國際的紛糾を避けるための平和手段等が主なもので、私は

國際精神涵養

の學校教育、藝術と音樂、地理及び歴史、世界的通信その他を提唱して見たい。前兆を行ふのであるが、最も力を注ぎたいと思ふのは世界的通信です。是は小、中、女學生などから「我が赤知敵、容易に海外に移した本年或は米國を敵洲に移したら知れない。地の利は天分ハンデキャップですから外國の勝味は薄い」少し悲觀的の原田君も急に例の濠放な口で、「何に佛國とて別に恐るゝに足ものだが最近この方面が稍下火

佛國は仲々侮れぬ

「佛國は年は若いし力量はつきり上達してゐるから仲々の敵の友に達つて、其處に純粋を敵洲に移した本年或は米國を敵洲に移したら知れない。地の利は各國の友達つて、其處に純粋な友愛親交を結ばうとの計畫で

前回には一萬通を携へて來

ましたが、今回も數百通持つて來てゐる。會議では各國代表を懇談、是非これ等の人々を動かし、ある組織を完了して見たい決心です、米國にも二所の通信取次――エゼントの勞を採るべき國際的を欲しく、東部に二ケ所、西部岸に一つ、これは一つ貴新聞社のお手を借りたいものです」と謂々の言はなかゝ難きない、記者は「すぐ矢を向けて試ねる「何といつても過度期にある、制度の改革が叫ばれて三大政相が、水野錬太郎氏などなつても、これは山崎達之輔、事務次官には栗屋謙、相當敏腕家が揃つてをり、今後見るべきものがあるだらう

私の學校では

は大正九年から中等學校ではじめて女子教育採用に先鞭をつけ栗山千代子、物井花子の二女史を傳して

國際教育大會
日本代表來桑
溝淵氏と伊藤氏

猶ほ一層運動する
架橋問題

（桑港電話）桑港橋問題に關して、委員案を採擇し、今後の處置についたと。

一、一層陸海軍省に迫ること。
二、陸海軍主管者としての大統領に、委員一同の討論の結果右四案を順次に試みることに決定して次の四つの方法を採ることに決定した。委員として出席したるものは主任――ジョンソン氏同じくセチター、ショートリッヂ氏及びロルフ市長等の有力者であつた。

セチター、ジョンソン氏は直ちに、陸海軍省に迫るこの大統領に、陸海軍省に賛成を勧めさせることを任命せしめ、當地に出張員を派遣し、所謂所女混淆に關して特別委員を

太平洋横斷 大飛行競爭規定

四ケ條昨日發表さる

參加申込み四臺 尙ほ三臺出場の見込み

世界未曾有の催し物――米布二千四百哩の三萬五千浬無着横斷飛行競技規則は愈々この八月十二日ミルスフィールドにて一齊に發表された。之が參加飛行家である

飛行競技規則は行の四ケ條に亘れるがフライン委員の發表に依れば目下正式に申込んだ者四名は異常な活況を呈して來た。一方桑港にある同盟會飛行の本部では一昨日特別勝技委員會を開催し左のルールを決定發表した

一、參加飛行家は必ず飛行大會發行の四日前即ち八月八日正午迄にマーケット街二二五サンダース委員長の許にまで出頭の事

二、出場飛行家は飛翔信號のつた後一分以内に離陸する事若し離陸せない場合は制則により離陸する事

三、參加飛行家は八月八日迄にパイロット或はナビゲーターとしての證明書を所持してフライングビルディング八〇三番のフライン氏の發表に依れば大會競技規則委員の許に出頭の事迄には少くとも參三機は參加する筈定であるがその顚末はジ會場所建物内にある飛行機檢査局のラーキン氏より發給されたるライセンスを持參する

四、フェデリック、アレキサンダー、ギールス、デトロイ居住、使用機は「ウス、ブルーバード複葉機」同氏は以前英國でエアーサービスに従事した人

五、ジョン、オーギー、バドラー、ミシガン州フリント市居住使用機ブール複葉機、同氏は學校女教師ルドレンド、ドーラン嬢を同乘の筈

六、アート、ゴーベル桑府在住使用機はラッベルアー單葉機は普通良家の子弟であるまして預かつて居る私も重い責任がありますが幸何も學生として自身がお互に立派な態度をさつてくれるので喜んでゐます。船室は中村さんの主義として去年問機三等に乘つて來ました」なは一行の内には昨年桑港に來られた中央大學の有馬純太郎君が再び加はつて而も海外學生研學團

海外の日本社

特派記者 と云ふ肩書を

つけて來た頃君の談によると、「今回僕は第二班の先發としてやつてきたので八日に第二班が來ると僕が一部の世話することになるのです僕は昨年加州に同胞からうけた美しい印象を卸つた後ろ髮ひかれる思ひでもさうしても忘れられませんでした他の國員も皆そう云つてます。今度も

加州の部は

櫻山少將は客中には帝大教授齋藤清太郎氏船に乘り合せたので非常に賑やかであつたとなる程は目立教大學教授根岸由太郎氏第五中學校長伊藤長七氏等がゐた。

これや丸

昨朝入港

桑濱間を十二日で航海して

これや丸は昨朝豫定より約一時間遅れ午前六時半檢疫所着同九時半三十四線頭に繫留した乘船客は四百名貨物は約三千噸上荷

時鄭三十四線頭に繫留した乘船客は四百名貨物は約三千噸上荷

千百樹を積載してゐた、同船は夏期ホノルル經由桑港止第一船として横濱桑港間を十二日間で航海して來た、本船は學生多く一見學生船の觀を呈してゐる學生相撲一行中村嘉壽氏主催の米相撲の一行によつて東京には應援の意味で來たのである。

高橋光雄氏を主將とし門倉（慶應）能登（早大）野崎（明大）松林（立教）宮田（國學）水田（大阪高）西澤（京蹴專）秋山（同志社）

選手の選抜なども凡て同クラブ工秋山（同志社）西澤（京蹴專）

の推薦によるものです。今度は丸のやうな顚抜けて巨大な選手

はないが何れも堂々たる體軀の所有者たちで元氣溌剌とした

監督の 根岸教授 は語る

第三回渡米學生相撲選手一行名は立教大學教授根岸由太郎氏ちは僕の信ずるところでは皆立派な選手で且純士だ」と述べた

渡米した、一行は拓殖大學の高橋主將は「第一回、二回の渡米相撲の一行によつて東京には

アメリカン・クラブでいふ會が組織してゐて今度僕等の渡米

選手の選抜なども凡て同クラブ工秋山（同志社）西澤（京蹴專）

の推薦によるものです。今度は

一体に体格 が平均して

てをり自分でいふのも何だが、何れも日本の學生相撲界では現

在一人の病人もなく至つて元

幸一人の病人もなく至つて元

ばかりです。南加州選手の力量についてもよく聞いて來てゐますが

私としては自信をもつてゐます

間は猛練習をつゞけて來ました

羅府に於ける八月五、六、七の

三日間の相撲試合は第一回、二回の渡

羅府選手と試合する他は今の處全

部見學に讓ることになつてゐる

私が特に一行の監督としてついて來たのは

外務省あたり の意見

によるもので別に深い意味がない

良好で

あり社會的に

實に豫想外に非常にいい反響をもたらした

結果今年も例年通り更に範

小學全集出版で 菊地寛アルス社

告訴事件出版業者組合の仲裁にて近く示談解決か

本社東京特電　廿一日午前八時着

全集物出版競爭の副產物として現れた小學全集出版元興文社及び監修菊地寛對小學讀本出版元アルス社間の告訴事件は出版業者組合の調停により示談解決さなるらしい

堀出した瓶詰の 銀貨二百圓から

朝鮮人工夫が喧嘩して御用

板橋で道路工事中の朝鮮人工夫二名は瓶詰の銀貨二百圓を掘出し分配のとから御定りの喧嘩をなし御用となる

和製ゼッファの 瀬川久一逮捕さる

靜岡市の鐵橋上に薪を積み放火し警官と格闘の上御用

二十一日午前一時靜岡市の鐵橋に薪をつみ火をつけ爆却せんとした和製ゼッファの瀬川久一は格闘の上逮捕された

初仕立の瀟洒な 洋服姿で來桑

渡米學生見學團一行 何れも良家の子弟と

吉富班長は語る

昨朝入港のこれや丸では中村代議士主催の學生海外見學團の内一班長吉富義雄氏引率の許に來桑した。何れも專門學校以上の學生で中學生は僅三名である、一行初仕立の瀟洒たる洋服を着て

第一班全米見學の部二十七名が班長吉富義雄氏引率の許に來桑した。何れも專門學校以上の學生で中學生は僅三名である、一行初仕立の瀟洒たる洋服を着て

團の成績が非常にいい反響をもたらした結果今年も例年通り更に範實に豫想外に

良好で

あり社會的に

團を選めて一部は歐洲見學に進出かゝる運びになつた次第です」と御承知の如く今回は米國の部を二つに分け一つは東部地方まで見學する班と他は昨年の如く加州見學を主とするのとにしました。本日の船は今米の部で後は來る八月八日入港の

春洋丸で來桑 する事

見學團名簿

全米の部

高垣次郎　進士龍太郎　小川精吉　今道勇吉　小平得二　豐吉二郎　中村展久　有田清造　上田萬戎　同文三郎　青木誠一　有馬純太郎（以上東京）渡邊義太郎（長野）原田清一郎（鹿兒島）武田元之輔（仙臺）板垣與二（小樽）前田榮雄（横濱）藤木成宏（京都）佐々木義夫　齋藤才三　澤田修太郎　高田正夫　末森豊次　亀井正太郎（以上大阪）矢頭喜代春（神戸）山田元一（大阪）柴田英雄（兵庫）吉富直純（東京）

合計　二十八名

今年は來られなひとになりました。

行衛不明

營業不如意でか

花月堂主人

ボスの行方はホテル隣に藥子舗を營業中である花月堂主人談

牛ケ月で翔破する 世界一周飛行

八月一日グレース港を出發 歐洲シベリア東京を經由し

飛行家は 桑濱間を十二日で航海して

高野事件嫌疑者 沖時雄慘殺せらる

タコマ市日本人レストラン奥の一室に寢てる所を狙撃

加害嫌疑の五同胞拘引

不利の證 言をなせる同胞は

敷ケ月に 亘る公判に

練歡彙報

高野殺し 事件で沖は

日本船が 桑港埠頭入繫

同時に四隻の

史跡踏査 齋藤教授渡米

美術雜貨 同盟會總會

副會長に神崎氏

余の理想と 希望

今晚日本語で ギ博士の講演

壁紙張替 ペンタ塗一切

竹田他吉

桑港ポスト街一五三一　電話ウエスト六五九〇

脇本益次君

桑港　須和田倉市

北岡彌重氏

桑港　須和田倉市

麻生山藏 有馬登雲

尋人

和歌山縣海草郡野崎村

島本鹿之助氏

北岡彌重氏

桑港花月堂主

松尾氏 要件あり至急御通信を乞ふ

二上代理事務所

兩角事務所

電氣類一切

電球は試驗して差上げます

アルミニュームケッシン道具

カーデナル電氣店

桑港ポスト街一八二〇B　電話　ウオナット七四二

相馬茶店

桑港グリー街一五一五　時計部　鏡部　電話ウエスト九三二

財滿商會

總會廣告

本會第二十六年度定期總會を七月廿二日午後三時より總領事館内事務所に於て開催致すべく候間御出席相成度此段廣告候也

加州日本人慈惠會

會員各位

暑中御見舞

尋人廣告

伊藤辰己

中元久治

今回

大勉强

見舞の

暑中御

到着

産土用生うなぎ

料理見習兼研究

貞子 福代

大西 栗田

料理

日本食

暑中休暇を利用して裁縫の實習

小幡女子裁縫學校

桑港興行會社

シンガー裁縫ミシン ラヂオ、ピアノ

常盤園

港すし

高等飯

すき燒

元祖 博多屋

チャールス デラー商會

コーセット

洋裁の栞

大森美子編

洋裁之栞發行所

MARTIN & BROWN
FUNERALS
1515 Scott St., S. F.
Phone West 10
日本人高級葬儀の一切
社儀葬
シンウラブ　ンテーマ

Since 1857
Borden's
EAGLE BRAND
CONDENSED MILK

L.A.-S.F. NAVIGATION CO.
Pier 17, San Francisco
Phone Davenport 8545
ハンボルト號明日出帆
サンタババラ、サンピドロ、羅府行
往復十八弗一等片道十弗
往復九十日有効、サンタババラにて下船を許す
桑港ラグナ街一五三七　桑港運送會社
代理店　桑港ポスト街一六八七
王府事務所　王府サンバブロ街一九〇一

CHAS. DILLER
1642-1644 FILLMORE STREET

小説 流れゆくもの

三太郎作

（百三十八）

第三章 流轉

（金曜日）

は親子が別れ住むことによって生ずる悲劇の數々を知ってるた。それは既に彼が渡米した最初に於て宗太郎をちさ宗一の間に見たのである。長い間別れていたあゐだに親子の情愛など薄れてしまい其此に喰則な、全然の他人でもなく又親子としてはあまりお互に親みがなさ過ぎる間柄。それより自然的に邪推や ひがみが生じて不愉快な生活つを見たのである。いやそれよりも彼れ自身が幼にして母に別れ孤獨裡に育った結果がさんなに子供心に寂しいものであった年齢の子供に比較して大きな相違かを今だに記憶してる。それ供心に父さんがみや暗い最を投じたかも知ってる。又更に米國へ來てからは幾度も日本へ小供を殺してる人の失敗談や噂を聞いた。彼が終日働きに出てるあひだ、いくのはどんな樣持ちで考へた。しかし現今として此れ以上の手段は見つからないのだ。

彼れは一日毎にいくのが樣々な知識、殊に言葉の上に於て眼立つて進んでゆくのに氣がついてるた、彼は機會があ毎に出來るだけ多くいくのに喋らせて その言葉を聞いた。それは然し皆正確な上學な言葉ではなかった。

「いくのそれはいけない譯が言ふの？、いくのフレンド？」

時としては情ない位下等な言葉を覺えて來た、純一は夕厳の後には彼女を膝にのせて正しい發音と正確な言葉の日本語を教る。ここに務めたけれども、いつの間にかいくのの言葉は一種の訛り言ち地方の方言が交り勝であった、それが可成純一の氣持を暗いものにした。それでも彼れは負けなかった日曜日で天氣がいい、彼れはいくのに洗ひたての着物をきせ海岸や公園へ出かけた、公園の青芝の上でキャンデーなぞを食べながら、麗らかな太陽に照らされ彼は愉快氣分を味ふのだったが、其ん な樣に彼れは正確な日本語でいくのに歌を教込まうとした。が巧ないくのでありながら何故か好まなかった。そして片言交りに英語の歌の眞似をするのだった。

「さーいくのパパの眞似して上手に歌つて御覽、パパより上手に、いくのはジャパンのお歌上手でせう、ね、そら唱ほつほ」

「いくのの？、いくのフレンド？」

を覺えて來た、純一は夕厳の後には彼女を膝にのせて正しい發音と正確な言葉の日本語を教る。ここに務めたけれども、いつの間にかいくのの言葉は一種の訛り言ち地方の方言が交り勝であった、それが可成純一の氣持を暗いものにした。それでも彼れは負けなかった日曜日で天氣がいい、彼れはいくのに洗ひたての着物をきせ海岸や公園へ出かけた、公園の青芝の上でキャンデーなぞを食べながら、麗らかな太陽に照らされ彼は愉快氣分を味ふのだったが、其ん な樣に彼れは正確な日本語でいくのに歌を教込まうとした。が巧ないくのでありながら何故か好まなかった。そして片言交りに英語の歌の眞似をするのだった。

「さーいくのパパの眞似して上手に歌つて御覽、パパより上手に、いくのはジャパンのお歌上手でせう、ね、そら唱ほつほ

▲ポテト一束況不振で、ワシントンダム二、五〇リバー一、五〇ニ、五、ガーネットの上物で三仙斤となった。

▲アスパラは入荷の量に於て言ふに足らぬが、需要低調で殘荷の目立つ。▲チョークも動ひなく、大形物少く、ナンバー、ワー物スタックで三十ダズンで三、五〇四、〇〇〇見當。

▲キューカムバーの動かぬ事例の如く、ローカル大ラグも五〇、六〇が多く、南加三〇ー五〇きころが大部分。

▲ベラパ多過ぎて弱くリバー物一四、〇〇〇見當。

▲ベラパ七五一、〇〇▲ピーマ物ニ、五〇ー二、七五。▲ピーズ依然沈滯。ライヤは品質不良、七ー七半、他は大方二五ぐらゐ。ポンチ三五ー四〇。

▲トメトは低調をつゞけてて、リバーの優秀なものでも大ラグ二〇ー二、五〇ニ、五〇、タラグ二、七五、マセド安物は一、〇〇ー一、二五も相當ある。下は五〇から七五位クレラを呼ぶ▲コーンが最高値を呼ぶ▲ロガンは五〇ー五〇▲西瓜（斤）仙豆分ノ二ー仙分ノ一。

農業欄

桑港市場

七月二十一日 木曜日（晴）

▲ベリー類四八〇〇チエスト、アプリカット九、レモン一、ワターメロン七、キャベツ一、ポテト二、セロリー一貨車。

農産物相場

七月二十一日（木曜日）

農産類

▲桃（クレラ）一、二五ー一、七五（箱）一、〇〇ー一、〇〇▲アプリカット（斤）一ー三五▲仙（クレッツ）八〇ー一、二五▲チエリー ローカルアー一、〇〇ー一、二五箱ルース八ー一二▲プラム（クレラ）一、〇〇ー一、五〇▲アプル 新物一、〇〇ー一、五〇ー二、七五▲キャンタローブ スタンダード一、二五ー一、七五ボニー▲ニ、〇〇ー二、二五ボニー▲ターラック（スタンダード）二、二五ー二、七五ボニー▲ニ、〇〇ー二、二五ボニー▲ニ、〇〇ー二、二五ボニー▲ニ、〇〇ー二、二

南加版

七月二十日
羅府支社發

三同胞密入嫌疑で又復捕らへらる

幇助者は藤本虎楠とて其の道の巧者らしいと

去る十七日の深更帝國軍艦の便宜上の跡まれなる地點で羅府へ急ぐ伊久美氏は通譯者となり右四人一團の自動車を移民官が誰何しの取調があつたが、田中の陳述のところ、その中にありし同胞逃走するところによれば、藤本は鹿兒島縣人吉田（つる）熊本縣人田（金）錢を受けて入國を幇助したもの中（三）は一名の高等でここが、のらしく、それに關して詳細に手引きらしい藤本虎楠氏が居つ告白したる由、なほ今二十日午後二時より訊問が續行されてゐるとのこと。ロスアンゼルスの都監獄に收監された、るといふ

艦隊歡迎準備に諸團體は大車輪

艦隊入港期日問ひ合せ中　進德丸は一足先きに入港

帝國練習艦隊「淺間」「磐手」ら艦隊に打電し問ひ中であつたが羅府入港期は未だ不明であるが、未だ返電がないので。或ひ富地來航は桑に七日と報じられは艦隊出帆後電報が到着したのてゐたが、同艦隊の航海日程に變更を來し、桑港には二日ほど豫定より早く入港するのではないかと推測せられ、從つて羅府は何日頃入港するか、確せられてゐる着は不明であるが、神戸高等商船進德丸も來ぬ。艦隊歡迎準備をなしつつある。羅府日會はハワイにおけ大車輪の有樣だ

艦隊歡迎について各縣一致に決定

寄附者には記念牌を　入港期日を問合せる

羅府日會並びに商議の練習艦隊歡迎ほぼ羅府より一昨日練習艦隊へ向迎方法相談會は一昨夜八時十五分入港の期日問合せ電報を打つ分より羅府日會ム議室にて催されてゐたが出席者は各縣代表者を始め南加團體の幹部にて五十餘名であつた、中村氏召集の說明をなし谷越太の挨拶、葛西氏の內容の說明があつていよ～相談に移り、各縣人が別々に歡迎すべき一致して歡迎すべきかい案件に關して富尾氏の提案あり結局一致して決定、然し廣島、三重、鹿兒島の諸縣には說に慰問袋や記念品を贈呈する準備をなしるところもあり相當議論もあつた谷越氏の更に在留同胞一致して主催團體の歡迎を說き出で鹿島縣海外協會の如きは三十弗を即座に寄附した、次に

歡迎費集金方法については羅府

都內の日會長並に幹部有志を委員に推薦し援助を依頼の羅府市の寄附は從來の區域分けに從ひその他の委員や縣人會に依頼し總て羅日商議の幹部に一任バンダは一弗以上の寄附者に贈與、第二か三で第一はベケーション迎賓員は團體より推薦し、設宴員三名が各縣人會の代表、幹部が網羅して推薦する事とし、濱野氏希望として見學の申出あり自由行動を與へたしとの申出あり承認され十一時半閉會す、なスコに來たが御本家には一寸飯

公判

一ケ月以內に開廷

メキシカンの子供を射殺したアーケデヤ布公三氏に係る豫審は一昨日午前十時より同地にて行はれたが判事は種々と證人を訊問の結果公判に附す旨の判決を下し渡た、從つて一ケ月以內に檢事より告發を見ていよ～公判の開廷を見る筈

オータハウス夫人ペンシルの行商

日本基教日曜學校協會會館建築費を得るため

本社第三回故國見學團長として渡したしオータハウス夫人は炎暑も厭はず毎日毎晩「ペンシル召ませ」さ六本一組の鉛筆を二十五仙で賣りあるいて居る。彼の女の商賣繁盛振りさい今のところ重に日白人教會を廻つてゐる。ようして集めた利益金は全部日本基教日曜學校協會會館建築費に寄附するとの

布氏事件の

さにつき來る二十四日十二時より三光樓にて有志の協議會を開くにてそれ～通知を出したが、南加には既に縣人會あるに海外協會とは非共支部を設けたるのでは是非支部を設けたき一般の希望にて、縣人有志間の結果公判に附す旨の判決を聞るため是非賛成出席あらん事を申し渡た、從つて一ケ月以內に檢事より告發を見ていよ～公判の開廷を見る筈

全米の代表者集り佛教女青聯盟式

西本願寺ホールで二十九日頃盛大に

今回ホワイトポイントに於て北米佛教會聯合會の夏季學校開催を期して、北米女子青年聯盟を組織する計畫ありしは既報の如くなるが、その打ち合せ等も成り、來る二十九日にかけて女青聯盟の會式を擧行する事となり由その場所は西本願寺ホールにて北加中加よりの女子青年代表者は約二十名の出席の筈である。

二十七日午前九時西本願寺の組廊金拜堂は豫定の式のプログラムは目下作製中であるが、午後一時より五時までは式會式六時よりは更に盛んなる組織を終はつてコレア丸で歸航する。

二十七日午前九時ハワイに寄港せぬため豫定より一二日早く二十七日午前九時歸港に到着する由

着羅期

西本願拜團

組合

同胞植木業者が設立の計畫

來廿四日會合

羅府を中心とし近郊に散在する同胞植木業者は來る二十四日午後一時より羅府日會ム議室にて同組織の件につき相談會を開く筈なる旨であるが、右に關し植木業者は語る「羅府を中心とし近郊に散在する

フレスノ (二十日)

サンメード商標 侵害訴訟に勝つ
加州控訴院よりレーズン會社に有利な判決を下す

カルフオルニヤ、シードレス、レーズン、コムバニーといふレルメニヤン系商人によつて成立つ商事會社が「サンレード」なる商標の下にレーズンの紙箱入りを賣出してゐるがそれはサンメイドの商標を一寸目には何づれとも判別し難いほどである。

●傷似したものとして敗訴年前レーズン會社が提訴し布哇上等裁判所で敗訴船を起し布哇上等裁判所で敗訴船を起し布哇上等裁判所で敗訴船を起

サクラメント

又も忌はしき少女凌辱事件

（廿一日）

加害者は同胞の老人で被害者は十三歳の同胞少女

一昨日から櫻府警察の偵吏が親戚西夫人の代りとして櫻幼稚園に浦川なる六十三歳の老人の行保姦たることを快諾し今後同園衛を捜索中であつたが之には忌育のため專心努力するよしまはしき少女凌辱の犯罪行爲のあることが判明した、被害少女はエル街の某洗濯所に働く同胞の少女で齢十三歳だが病は相當大きく見るが無邪氣な子だ、事の發見は去る十九日午後

▲母親が少女に入湯させんとして下着に血痕の附着せるに不審を抱き少女を追求したところ去る十四日の午後二時から三時頃で五千臺以上のトラックと二百六十臺以上のモーターサイクルがあり加州全體で續いて自動車を合せ百六十二萬五千七百六十六臺あるよし

●張法話　櫻府佛教會清水碩默したのだと自白したので同山師は來る土曜リスボンへ今西親は無いて右の次第を警察に訴へ出たのであるとこの日曜はアイルトンへ何れも出張法話あるべしと

●ダイナマイト騒ぎ　昨日當市ブロードウエイ洋食店主既に本紙で報せし如く一般諸氏は遠來の勇士を歡迎するの意味において出來得るだけ多くの賞賛ありたしと若不案内の諸氏は愛良の處まで申込まれたし

●鶴岡夏期休業　日語學園は去る十日の學藝會を終へ翌日より一ケ月間夏期休暇なりと

●加藤氏引こもり　市内加藤直太郎氏は昨年度の賞與金を一噸三十弗と決定して生産者は歓んで州政府に入院したが重態であると

●大倉氏退院　一時重態であつた第四銀行ビル内大倉虎蔵氏は金快一昨日退院

●出張法話　櫻府佛教會清水碩默したのだと自白したので同山師は來る土曜リスボンへ今西親は無いて右の次第を警察に訴へ出たのであるとこの日曜はアイルトンへ何れも出張法話あるべしと

●ダイナマイト騒ぎ　昨日當市ブロードウエイ洋食店主既に本紙で報せし如く一般諸氏は遠來の勇士を歡迎するの意味において出來得るだけ多くの賞賛ありたしと若不案内の諸氏は愛良の處まで申込まれたし

●鶴岡夏期休業　日語學園は去る十日の學藝會を終へ翌日より一ケ月間夏期休暇なりと

●本紙員來須　本紙營業部慶告師佐々木は佛教會補佐を學園教師を兼ねる管である

●本紙員來須　本紙營業部慶告師佐々木は佛教會補佐を學園教師を兼ねる管である

●賀屋の主は誰か　愛信は佛本田商店の主人高村大学合志高村氏の娘の子で六十歳位の祖母ら加州洗濯所に入り青く地方巡りの任に從事すべしと

●賀屋の主は誰か　愛信は佛本田商店の主人高村大学合志高村氏の娘の子で六十歳位の祖母ら加州洗濯所に入り青く地方巡りの任に從事すべしと

●松本氏加洗入り　宮田商店地方で最良であつた松本幸一氏は加州洗濯所に入り青く地方巡りの任に從事すべしと

●松井幸兵衛氏來須　本紙で紹介した在米最高年齢者山口縣人松井幸兵衛氏は南加より鹿児來須日米ホテルに滞在中

●上田氏引籠り　福岡縣上田一男氏は風邪引籠り中である

●佛教會曜サービス　廿三日(土)午前九時半　サンタクルーズ日曜學校　廿三日(土)午後八時　ウイスキヒル法話會　同地鴻巣吉氏宅にて

廿四日(日)午前十時　華林日曜學校　德目「愛するものは愛せられるものより幸なり」　各級各受持

沼田先生の七話　井関先生　やみの中を歩いてゆく　二人は半丁ばかり歩いたらしい。

●佛教婦人會　二十三日(土)午後二時より本月月例會をかねて「鱒」園會並に新入會員數名の歓迎會を催す、一般會員洩れなく參集ありたし

●河本氏バス　歓モントレー河口ホテルで約めたストライプバスは長さ四十四吋最目井九斤その附近では今年のレコードだらうさのこと偶同日同所で横老人の葬儀は本日午後二時より山代大郎氏も井四時の大物を釣ヘール・ボーデン葬儀社内に備されたる會員四十餘名軍隊師の樂を聞聴したやうだ

●河本氏バス　歓モントレー河口ホテルで約めたストライプバスは長さ四十四吋最目井九斤その附近では今年のレコードだらうさのこと偶同日同所で横老人の葬儀は本日午後二時より山代大郎氏も井四時の大物を釣ヘール・ボーデン葬儀社内に備されたる會員四十餘名軍隊師の樂を聞聴したやうだ

●小岩井老人葬儀　郡立病院に死去したる長野縣出身小岩井老人の葬儀は本日午後二時より山代大郎氏も井四時の大物を釣ヘール・ボーデン葬儀社内に備されたる會員四十餘名軍隊師の樂を聞聴したやうだ

櫻府郡の自動車登録數

三萬三千百十三臺

櫻府市州モーター、ヴイフィクル・デパートメント長官なるフランク・スノフク氏の發表するところによれば本年度櫻府郡の自動車登録數は三萬三千百十三臺で五千臺以上のトラックと二百六十臺以上のモーターサイクルがあり加州全體で續いて自動車を合せ百六十二萬五千七百六十六臺あるよし

櫻學園増築委員會

今春來協議を重ね來りし櫻學園増築問題も愈愈進捗し愈々明廿二日の金曜午後八時より佛教會パーラーに於て増築準備委員會を開催する由なるが今回は特に賀要事項熟議すべきにより委員は漏れなく出席されたしと

コーンの中毒で寢床で針が脚に刺さり

フロリンの農業家鈴木默一氏入院

元町氏は去る十九日スウ井トコーンを食べたところその毒に當り吐瀉するやら下痢するやら胃潰瘍に罹り同日サター病院に入院したが重態であると

櫻生局では目下詳見に奮ありて厳重取締中であるが夏期の事とて人々の胃腸が弱つてる場合食物に注意を要すと

鈴木默一氏ミセス入院

一昨十九日夜のことペンリンに家族住まひの當市鈴木默一氏ミセスはベッドより降りやうとして定した、偶々枕の全部が地上に落ちるとき、シーツに躓き倒れて負傷し一枚も外すことが右の下脚に刺さり抜けず入院しるとの之に對して切開手術を受けたるが針の所在明らかせず更にエックス光線にかけ再度の切開手術を受けることになりたりと

●津田氏が學園の保姆　今春當市ハイスクールを優等で卒業した津田八重子嬢は來學期より今春卒業の武藤氏と共に本年度の學費は去る十日の學藝會を終へ翌日より一ケ月間夏期休暇なりと

桃の値段を中心に罐詰と桃の睨み合ひ

（二十日）

桃生産者井弗主張に對し罐詰會社廿五弗主張

加州罐桃生産者組合は本年の會デスト中心に組合の結束が破れ賀渡代金を一噸三十弗と決定して生産者は歓んで州政府に入院したが重態であると

桃罐詰製造會社は桃生産者組合の決議したるよりも五弗安の二十五弗でなければ契約を結ばなかつたので兩者の間に猛烈な持久戦が開かれてゐる

▲桃生産者の宣言　宣言するところでは昨年は噸四十弗であり豊作であつたが羅濱上の事情を考慮して三十弗噸に本年の値段を決いつて來た。

「さうした？　砂繪屋、驚いたな話だ、砂繪屋」

「ハイ――」　と、侍。

「ヘエ――」

藤兵衛、地べたにはつたまゝ

「お前、彼奴を背負つてくれ、こまで歩いゝから、アレを背負つてくれ」

「ハイ」

「輕いもんだ、行つてくれ」

「ヘエ――」

「行つてくれるな」

「ハイ」

「立て！　背負はせてやる」

「ヘエ――」　と藤兵衛は立つたが、膝頭が顫ひ出す。

「ハイ――」

「おい……」

「引け――」

「おい……」

「古い――、古い文句だ、早くたこりのうちへでも逃げ込むの

「チェッ」

と舌打をしたが思ふと、敵手は刀を引いて、やみの中に消わつてしまつた。

黒阿彌を脅負つたまゝすわつてしまつた藤兵衛を孫之丞は引起しながら、

「少し急いでくれ、事が面倒になるからな」

「ハイ」

「立て！　背負はせてやる」

「ヘエ――」　と藤兵衛は立つたが、膝頭が顫ひ出す。

「ハイ――」

「おい……」

「引け――」

「おい……」

「古い――、古い文句だ、早くたこりのうちへでも逃げ込むの

「チェッ」

と舌打をしたが思ふと、敵手は刀を引いて、やみの中に消わつてしまつた。

黒阿彌を脅負つたまゝすわつてしまつた藤兵衛を孫之丞は引起しながら、

「少し急いでくれ、事が面倒になるからな

The Japanese American News
THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN
K. ABIKO, PUBLISHER AND EDITOR
650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO, CALIFORNIA
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
ONE YEAR $11.00
SIX MONTHS ..... $ 5.50
ONE MONTH ..... $ 1.00
SINGLE COPY ..... 5 CENTS

The PIONEER

(By Howard Imazeki)

(Continued from yesterday)

He was working in the ranch when he received a letter from his only sister who was already married, back in his old home. In the evening, under the flaring light of a kerosene lamp, he read the letter and learned the death of his old father and mother. For a month, he was mentally fanatic. His mind was at loss. Sometimes, he would sit under a slender willow tree by a creek and spend hours and hours gazing straight into the water. White laborers with whom he worked did not understand him, and there was no one to console his sad and lonely heart. But the trial was ended with joy. With faith, he was resurrected.

His strength returned. He worked harder than before. Often he had to work from dawn to sunset, and literally sleep with horses.

It took tremendous courage for him to invest all the money he had in buying a big tract of untouched land in a secluded corner of California. He spent a year in cleaning and cultivating the land. In the second year, he planted onions and found it was just the earth for it. The third year the income began to pour in. And then, year by year it grew until at the end of the seventh year, he was a distinguished character in his community. He advised other Japanese to try their hands on farming, and they thanked him after two or three years of hardships.

The fiftieth year visited him. And on that same year, he failed tremendously. Three years in succession he failed and lost his fortune; and more than that he was misunderstood and ostracized. But still he did not complain. He rolled up his blankets and began working as a day-worker as he had done years ago.

He was glad to see so many Japanese all over the state, both in the city and country. He found infinite joy in knowing that many of his old friends were on the top of the social ladder and doing good for men and communities.

It was a quiet Sabbath day. No work and every one went out to a nearby town and the camp was deadly silent. In the evening, I went into the old man's room as usual to sing him a few hymns and to read lines from the Scripture. To my astonishment, the old man was in bed, groaning faintly. My astonishment grew into fear when I looked into his face which wa sdeathly white. I poured some water into his mouth quickly. Several minutes later, he stopped groaning and opened his fatigued eyes. He seemed to ask for more water. I gave him two tablespoonfuls. "Doctor?" I asked excitedly. He moved his head sidewise, striving to utter, "No." I stood there helpless, waiting impatiently for him to say something. Then his eyes began to smile faintly. My mind was settled. I decided to stay by him to the end. In that very moment, I read intuitively, his eyes saying to me, "Be brave, my boy! Be brave!"

Thirty minutes later, his aged eyes were closed. The cold, dead corpse of the old man was lying on a hard, wooden bed, like a gigantic, fallen oak tree on the side of a mountain. The pioneer had passed away, uncared and unnoticed. Crickets were chirping sorrowfully under the windows, and the pale, greenish half-moon was shining over the top of the pear trees.

GOVERNMENT SUPPORTED AT MASS MEETING OF SHINANO SEIYU-KAIS

Premier Tanaka Takes Part In Great Gathering at Naganoshi

Special to the Japanese American News

TOKYO, July 21—A mass meeting of Seiyu-Kai party members of North Shinano prefecture was conducted today in the reception hall of the Joyamakaku, in Naganoshi.

Premier Tanaka and the entire body of Seiyu-Kai leaders attended this important gathering. One of the acts of the assembled delegates was the passage of a resolution supporting the present Tanaka government.

In the evening an elaborate "get-together" banquet was held for the purpose of congratulating themselves on the progress of their party.

New Brazilian Ambassador Arrives in Yokohama

Special to the Japanese American News

TOKYO, July 21—The new Brazilian ambassador to Japan arrived in Yokohama this morning on board a French mail boat.

A TALE OF WOE

(By Norman O'hara)

Oh smile, you city-bred cynic,
For sad is the story I tell;
It is of the bane of the country,
Which nullifies fears of a hell.

And what is this bane of the country,
Where air, cows, and horses are fresh?
I'll tell you, my dear urban dumb one,
The bane of country is—FISH!

A day's hard work in the open,
And "home"—stomachs shaming a cave;
The sight of foul fish on the table
Would make a dumb maniac rave!

Oh cursed is the sound of the fish-horn
As venders sneak up with their wares;
It murders the peace of the country,
My sweet disposition it tears.

Some day when my trials are over,
And to the portals of heaven (?) I ascend;
I'll have one haunting misgiving,
And misery still there may attend

If Gabriel's time-honored trumpet
Sounds forth on the heavenly breeze,
And reminds me one note of a fish horn—
I'll flee in all haste to Hades!

Dr. Sidney Gulick To Speak in S.F. Tonight

"My Hopes and Ideals" will be the topic on which Dr. Sidney Gulick, well-known international publicist and former professor at Doshisha University, will speak at the First Reformed Church of San Francisco tonight (Friday), eight o'clock. He will speak in Japanese.

S.F. MAYOR APPOINTS CITIZENS' COMMITTEE TO WELCOME SQUADRON

Committee To Meet Today At Mayor Rolph's Office

One of the ardent personalities back of the movement to give the incoming Japanese Imperial training squadron an appropriate ovation is Mayor Rolph of San Francisco. He has appointed a citizen's committee of 250 prominent Americans and Japanese, headed by Mr. Lewis F. Byington, chairman. Among the more prominent Japanese included in this comittee are Acting Consul-General Shibata, and Messrs. Noguchi of the Yokohama Specie Bank and Yamamoto of the Nippon Yusen Kaisha steamship line.

This citizens' reception committee will assemble in the office of Mayor Rolph today, Friday, at 4 p.m., in order to formulate an appropriate welcome plan for the Japanese squadron.

The welcome preparations from Japanese community of this city is being sponsored by the Japanese Association of San Francisco, the Japanese Chamber of Commerce, and the Japanese Association of America. Through combined efforts, a complete tentative program has been announced, and its highlights are as follows:

Friday, July 29

Official exchange of visit

8:30 p.m.—Japan Society reception at Hotel Fairmont

Saturday, July 30

Reception at Pacific Union Club in the morning

Sunday, July 31

Visit to University of California

Reception by East Bay Japanese Associations

12:30 m.—Banquet on board the flagship to be given by Rear-Admiral Nagano

5:30 p.m.—Reception at Hotel Whitcomb by Japanese community

7:00 p.m.—Entertainment at Civic Center by Japanese

Monday, August 1

9:00 a.m.—Visit to Stanford

Evening—Reception on board United States battleships Pennsylvania and Arizona

Tuesday, August 2

1:00 p.m.—Mayor Rolph's formal reception

There will be several other receptions on this day

Wednesday, August 3

"At home" throughout the day

7:00 p.m.—Reception by Acting Consul-General Shibata

The squadron will leave San Francisco at noon of August 4.

Alameda Epworth Netmen To Hold Tournament

Over Sixteen Members Will Participate in Eliminations

The members of the Alameda Epworth League assembled on Sunday, July 10, in the reception parlor of the M.E. Church to discuss sponsoring a tennis tournament during the sumer vacation. The proposition was given unanimous approval, and James Hanamura, who heads the recreational department, was chosen supervisor of the tournament. Names of members who intended to take part in the competition were turned over to him, and on Sunday he released the elimination contest list.

Following are the play-offs: Shizuko Fujii vs. Mary Nagai; Vira Tanaka vs. Yoshie Yamamoto; Yoneo Taniguchi vs. Lily Minami; Grace Kawachi vs. Helen Imura; Shozo Fujii vs. George Miki; Shizuto Kawamura vs. James Hanamura; Johnnie Towata vs. George Rokutani; and Henry Yamamoto vs. Haruo Imura.

The championship is expected to be decided before summer vacation ends. All the members participating in the tennis tournament are requested to report the results to James Hanamura as soon as possible.

EXCLUSION ACT CALMS ANTI-ORIENTAL FEELINGS DECLARES DR. McKENZIE

Oriental Exclusion Study Is Presented at Pacific Institute

HONOLULU, July 22—The effects of Oriental exclusion in the United States, the economic aspects of immigration, barriers to the assimilation of alien races, and the difference between Oriental and Occidental standards of living were the chief topics discussed yesterday at the Honolulu Conference of the Institute of Pacific Relations.

A monograph on Oriental Exclusion, by R. D. McKenzie, professor of Sociology, in the University of Washington, (Seattle), was laid before the conference as one of the chief pieces of research achieved by the American group in preparation for this conference, since the first meeting the Institute two years ago.

In it McKenzie pointed out that half a century's experience with exclusion legislation in the United States has been successful in accomplishing its original purpose to escape economic competiton with Asiatic coolie labor. "Because Chinese immigration has been stemmed," anti-Chinese sentiment has subsided almost to the point of non-existence."

This, Professor McKenzie emphasized, was the American aspect of exclusion, but he pointed out that the Chinese had never accepted exclusion as a just method of dealing with immigration restriction; that as a practical necessity, the Chinese accept the exclusion of coolie labor, but that they seriously oppose what they consider to be efforts on the part of immigration officials to exclude all members of their race.

"The Imigration Act of 1924 has been in effect too short a time," Dr. McKenzie said, "to warrant any prediction as to its ultimate significance. But judging from two and a half year's experience one might hazard the conjecture that the Act will do for Japanese immigration what the Exclusion Act of 1882 did for Chinese immigration. That is, it will so reduce and select the stream of Japanese immigration so that the Japanese problem will cease to be of public concern. But the Japanese are even farther than the Chinese from accepting the status quo as the final solution."

The difference between exclusion and restriction lies, according to Dr. McKenzie, in the mental attitude involved.

"The practical results of the methods are about the same," he said, "Exclusion, however, discriminates in a manner that is offensivee to the racial and national dignity of the group excluded. Both China and Japan, according to the repeated utterances of their representative leaders, accept the principle of immigration restriction. It has been pointed out on numerous occasions that the quota principle, as at present applied to Europeans ,if applied to Asiatics, would admit such a negligible number that the practical end of immigration would be achieved and without the sacrifice of international goodwill."

Dr. Hidemichi Akagi, secretary of the Japanse Christian Student Alliance of North America, spoke on the Assimilation of Alien Races, and Race Contacts thru Migrations of Laborers, Merchants, Missionaries and Others, in California. The same subjects, from the point of Hawaii, were reviewed by Dr. T. Harada, professor of Japanese language and culture, at the University of Hawaii.

The American group also laid on the table for the consideration of delegates, four Government documents on the laws governing the admission of Chinese and other aliens into the United States. A fifth document was also presented on the immigration laws of Australia, Canada, New Zealand and Japan, which is said to be the first compilation of these laws made. The Institute had them compiled for discussion and comparison with American laws.

Japanese "Cowboys" To Tangle In 2 Mound Tilts

Two Baseball Contests Will Furnish Thrills for Rooters

To furnish added attraction to the Salinas "Big Week", on Saturday afternoon, the "up and at 'em" Salinas Tigers will take on the Fresno Athletic baseballers, while on Sunday, the Cowboys will meet their ancient rivals from Watsonville.

Although the Salinas boys have been rated as a "Class B" team, there are many who believe them as being coordinate in strength with some of the so-called "Class A" aggregations.

Five members of the Cowboy squad, Nagano, Yamamoto, Kobayashi, T. Urabe, and Tanda are local high school stars.

Shirachi brothers and J. Urabe are other stellar performers. The Raisin City boys will meet a tough bunch of willowmen to beat.

SALINAS JAPANESE WILL ENTER FLOAT IN 'BIG WEEK' PARADE

Western Rodeo Is Main Attraction of Big Week

Salinas the home of California Rodeo, the City of Hospitality, (Chamber of Commerce slogan), is the center of stellar attractions at the present time, the world-famous Rodeo being the main attraction of the "Big Week."

T. H. Hasegawa, connected with the San Francisco Japanese Chamber of Commerce, who is spending the summer in Salinas, writes:

"Salinas, whose invigorating air we are inhaling now, extends much hospitality to the visitors rapidly pouring into town.

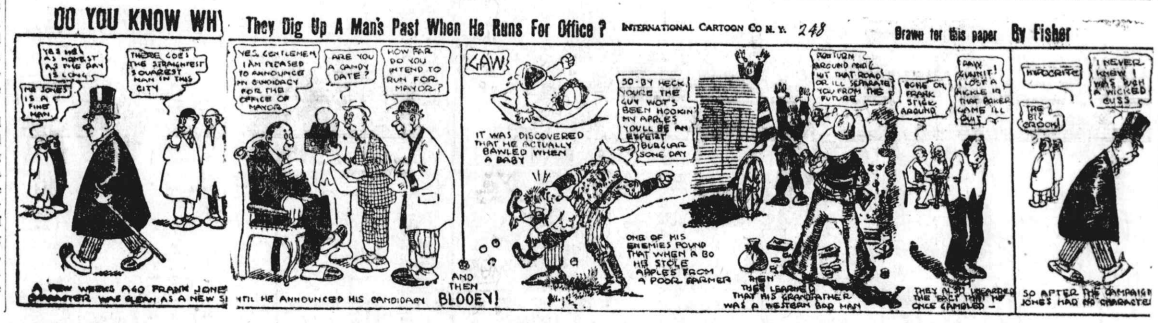
"The height of merriment will be reached Saturday night when a grand parade will be held, followed by dancing on the main thoroughfare, for distance of two or three blocks.

"The Japanese of this section will do their share by entering a float in Saturday's parade."

Others who are visiting Salinas from this city are, Misses Hisak Miho, Lily Hata, and Yoichi Moriya.

DO YOU KNOW WH\ They Dig Up A Man's Past When He Runs For Office?

INTERNATIONAL CARTOON CO. N. Y. 248 — Brawn for this paper — By Fisher



保險證提供

▲最高壹萬弗の
▲傷害保險
▲締切 七月卅一日

日米新聞が過去廿八年間、忠實に社會の出來事を報道し、正論を主張し、輿論の代表者となり、所謂新聞紙としての天職を盡し得たとは一に、在留同胞諸君の有力なる後援と深く感謝致して居ります。

日米社は諸君の後援に對する感謝の意味に於て、同時に新購讀者募集、購讀料徴収、及び滯納せる過去の購讀料を回收して帳簿の整理を致したいので、今回桑港パイオニヤ保險會社と契約して本紙購讀者の爲に旅行及び歩行傷害保險を提供致します

新購讀者 一ケ年分前金 十一弗支拂者
現購讀者 一ケ年分前金 十一弗支拂者
現購讀者 一ケ年分 十二弗支拂者

一九二七年五月十四日

桑港 日米新聞社

注意

本社は規定の購讀料の中より一弗廿五仙を割いて保險會社に支拂ひます。本紙讀者は普通の購讀料を支拂へば傷害保險證を得る事が出來るのです

本傷害保險證は十五歳以上、七十歳迄の人ならば其の職業の如何に關らず健康試驗なしに發行致します。

保險加入希望者は規定の購讀料に左の申込書を添へて御送り下さい

保險證は本社から直接購讀者に送ります。

姓名は日英兩字で必ず本人の自署たること。

傷害保險證提供は七月卅一日を以て締切ります

本傷害保險の効力は米國内に限ります

保險申込書

一金弗七十五仙 日米新聞一ケ年分
一金一弗二十五仙 保險料及登錄料
合計金拾貳弗也

一金九弗七十五仙 日米新聞一ケ年分前金
一金一弗二十五仙 保險料及登錄料
合計金拾壹弗也

金弗 仙也

日米新聞購讀料として御送申上候間パイオニヤー傷害保險會社發行の旅行及歩行傷害保險證御送附被下度願上候

一九二七年 月 日

姓名 現購讀者 新購讀者

(英字にて左記御記入下さい)

Name(姓名)

Age(年齢)

Address(住所)

日米新聞社御中

▲保險證の要目を左に譯出します

▲第一項

(A)被保險者が乘客として汽車、汽船、フエリーボート、ストリート カー、エレベータッド レールウエー カー、地下鐵道等に搭乘し居る際、衝突又は破損等の結果死亡し又は傷害を受けたる場合又は

(B)被保險者が乘客として客馬車、タキシー カップ、スリー ヲ等に搭乘し居り、ライセンスを有するドライバーに依りて操縱され居る際、衝突又は破損の結果傷害を蒙り卅日以内に死亡し又は左記規定の如く身體の一部を失ひたる場合會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 一萬弗
兩手を失ひたる時 一萬弗
兩足を失ひたる時 一萬弗
片手片足を失ひたる時 一萬弗
片手片眼を失ひたる時 一萬弗
片足片眼を失ひたる時 一萬弗
片手を失ひたる時 一千五百弗
片足を失ひたる時 一千五百弗
片眼を失ひたる時 一千五百弗
仕事を休みたる場合(第四項Aの規定に從ふ) 一週廿弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第二項

(A)私用自動車、或はモーター備へつけの車輛を操縱し、或はこれに搭乘し居る際、衝突又は破損の結果、或はアクシデントの爲め車上より拋げ出されたる結果死亡し又は傷害を受けたる場合(モーターサイクルを除く)又は

(B)客用エレベーター(鑛山用エレベーターを除く)にパッセンヂヤーとして乘り居る際破損の爲め傷害を蒙り卅日以内に死亡又は身體の部分を失ひたる場合會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 二千弗
兩眼を失ひたる時 二千弗
兩手を失ひたる時 二千弗
兩足を失ひたる時 二千弗
片手片足を失ひたる時 二千弗
片手片眼を失ひたる時 二千弗
片足片眼を失ひたる時 二千弗
片手を失ひたる時 七百五十弗
片足を失ひたる時 七百五十弗
片眼を失ひたる時 七百五十弗
仕事を休みたる場合(第四項Bの規定に從ふ) 一週十弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第三項

(A)パブリックハイウエーを通行中、又は佇立しつゝある際、自動車又はスチーム、ケーブル、電氣、揮發油、馬、壓搾空氣或は水壓等に依り運行を爲す車輛の爲に突當てられ衝突され、或は轢倒されたる場合(パブリックハイウエーにて仕事せる時又は汽車の通路を除く)又は

(B)教會、劇場、圖書館、學校、市役所、火災の際、被保險者が火災の當初より其の場に居合せ、又は傷を蒙り又は煙の爲に窒息せる場合、又は

(C)雷電、颶風、龍卷の爲に傷害を受けたる場合又は

(D)建築物の外壁倒壞に依り傷害を受けたる場合(建築、取壞し、又は修繕の爲め其建物中に働き居る場合を除く)

(E)生命救護人の居る海濱、公設水泳場にて溺れたる場合

以上各種の場合に於て傷害を受けたる結果卅日以内に死亡し又は身體の部分を失ひたる時、會社は左の割合にて保險金を支拂ふ

生命を失ひたる時 一千弗
兩眼を失ひたる時 一千弗
兩足を失ひたる時 一千弗
片手片足を失ひたる時 一千弗
片手片眼を失ひたる時 一千弗
片足片眼を失ひたる時 一千弗
片手を失ひたる時 五百弗
片足を失ひたる時 五百弗
片眼を失ひたる時 五百弗
仕事を休みたる場合(第四項Bの規定に從ふ) 一週五十弗
保險金は右記一項目以上支拂はず

▲第四項

(A)被保險者が一ケ年以内に第一項規定の傷害を受けたる結果職業又は仕事を爲す能はざる場合會社は一週間二十弗の割にて十週間扶助金を支拂ふ

(B)被保險者が一ケ年以内に第二項第三項の傷害を受けたる結果職業又は仕事を爲す能はざる場合會社は一週十弗の割にて十五週間扶助金を支拂ふ